

# つるおかコンポスト 利用促進検討委員会



日時：令和8年1月20日  
午後1時30分～  
場所：つるおかエコファイア  
3階研修室

# 3- (1) 新汚泥資源化（コンポスト）施設整備の進捗状況について

## ① 新汚泥資源化（コンポスト）施設整備の進捗状況

### 【進捗状況】

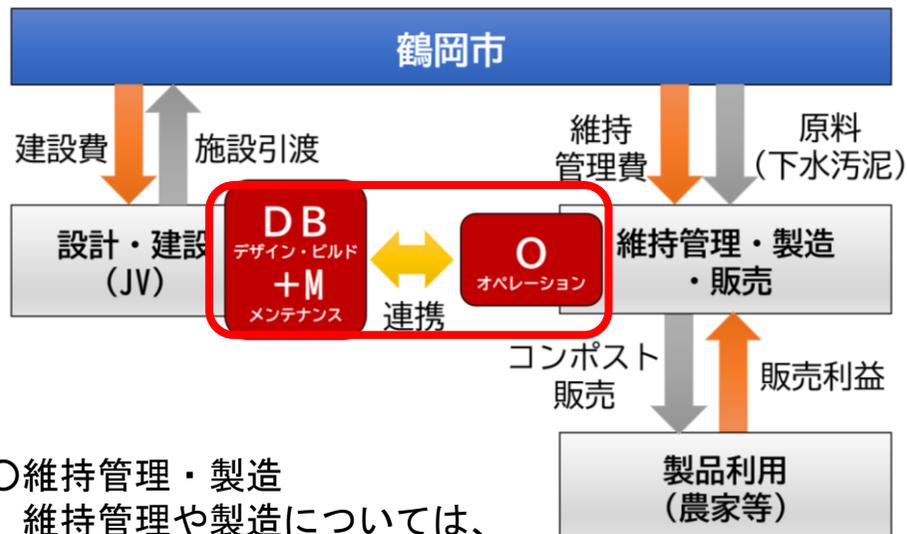
・現在 外壁の整備・鉄骨工事

### 【令和7年度の予定】

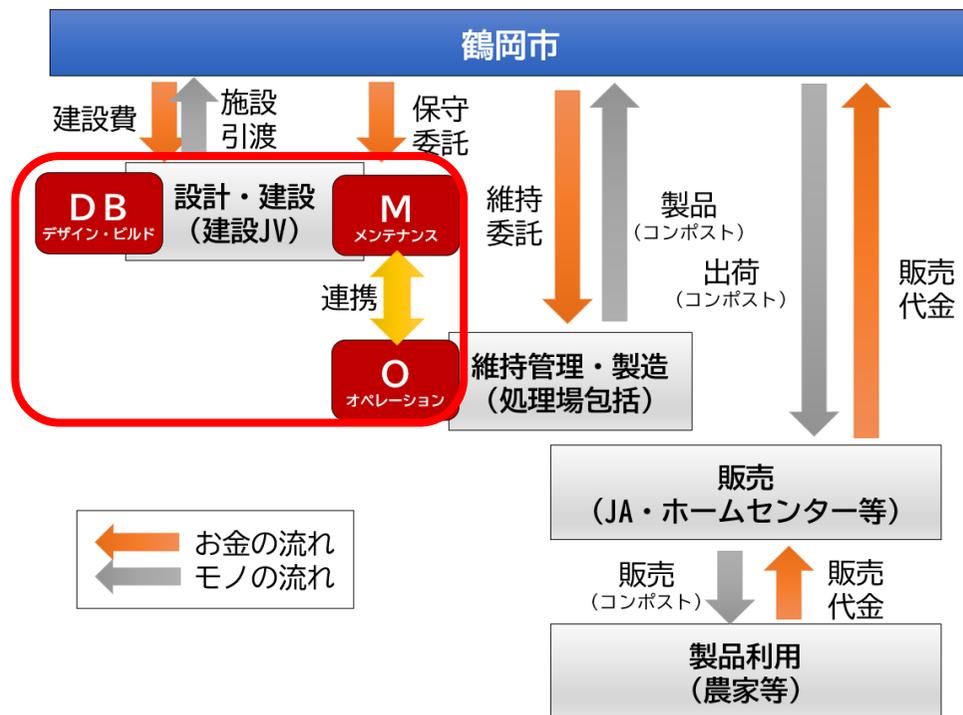
- ・外壁の整備、鉄骨工事の継続
- ・扉などの建具工事



## ② 事業イメージ（スキーム）



- 維持管理・製造  
維持管理や製造については、処理場の包括業務受託者が行うことを想定
- 販売  
販売や販路拡大については、引続きJA等と協力して取り組む



← お金の流れ  
← モノの流れ

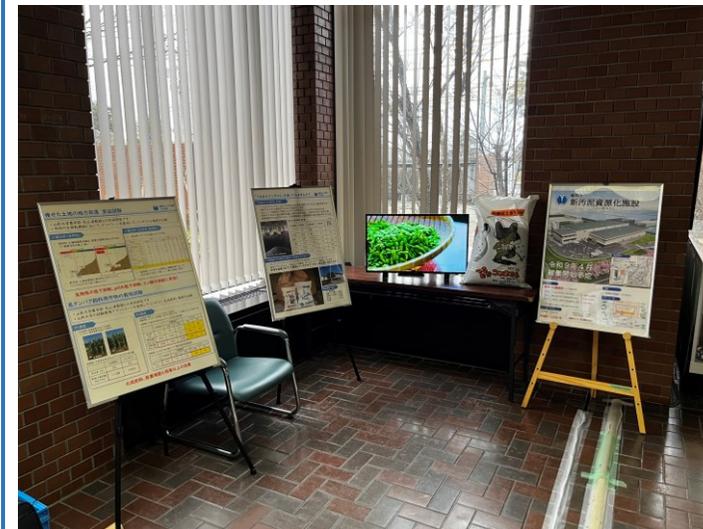
## 3- (2) 下水汚泥コンポストペレット化実証の進捗状況について

- ① コンポストペレット製品化技術の検証（性状・形状・成分） 【終了】 ※ 水ing  
1期 約10t 2期 約3t 計 13t製造  
・含水率やもみ殻混合比等の起因により、ペレットの不均一が見られた  
→新施設では安定したもみ殻の混合比となる事からペレット製品の不均一は解消可能  
・高温多湿な環境やペレット化による水分偏在などによりカビが発生した  
→粗熱を除去することでカビの発生は解消。カビの成分分析を実施した結果、一般的なカビであること、品質に影響がないことを確認（④の菌類分析）
- ② イニシャル・ランニングコストの検証 【終了】 ※ 水ing  
ペレット化施設（設計・プラント機械電気設備・土木建築）の概算  
・粗熱除去装置あり 約8.3億円 ランニングコスト 約2.7千万円/年  
・粗熱除去装置なし 約7.4億円 ランニングコスト 約2.0千万円/年  
→ペレット化施設の整備財源として国や県に補助金や交付金等利用できる制度を確認する経過で県からは補助金や交付金を利用するには収支が均衡する事業でないと難しいとの回答  
→他に利用できる制度がないか確認するとともに、下水汚泥資源の利用促進に向けた事業に補助金や交付金等メニューを新設するよう国土交通省への要望を検討
- ③ ペレットによる作業の効率化、製品保管・取扱性の実証 【R6~R7実施】 ※ JA鶴岡など  
・粒形が長いと散布しにくい  
→ダイスの大きさを調整し、粒形を調整することで対応可能  
・フレコンバッグから農機に詰める作業に労力と時間を取られたので、商品化には10kgや18kgなどの袋詰めが望ましい。
- ④ 肥効性実証と土壌分析・菌類の分析 【終了】 ※ 山大・東北環境開発・理研  
・ペレット散布により、土壌への溶出が抑制されるもの（カルシウム・マグネシウム・マンガン）、影響がなかったもの（有機物、窒素、リン酸、カリウム）、促進されるもの（モリブデン・亜鉛）がある
- ⑤ 農家からの意見・需要の見込みの集約 【終了】 ※ 日水コン  
JAや農家からはペレット化に対する期待の声が挙げられた一方で、以下のような個別具体の課題が挙げられた。  
・ペレットに含まれる成分及び作物への効果などの特性の明確化、使用量や使用時期の明示  
・重金属の含有懸念の払しょく
- ⑥ ペレット化製品の販売価格の検討、概算事業費見込みと事業スキームの検討 【R7実施中】  
・委託業者が農家や市農政課等にヒアリングやアンケート調査を実施

## 3- (3) 今年度の取組み状況について

### 【今年度の取組み状況・予定について】

- 令和7年 4月 つるおかコンポストの無償提供（各小中学校・自治会 4月～8月）  
5月 作業部会  
第2回つるおかコンポスト利用促進検討委員会  
7月 ペレット化実証事業委託（事業可能性調査・検討業務 7月～3月）  
8月 つるおかコンポストの無償提供（各小中学校・自治会 8月～10月）  
9月 環境フェア（パネル展示・動画上映）  
10月 大産業まつり（パネル展示・動画上映）  
令和8年 1月 第3回つるおかコンポスト利用促進検討委員会  
2月 市役所1階ロビー（パネル展示・動画上映 2月24日～27日）  
※随時ホームページの更新



## 参考 3- (4) 第2回つるおかコンポスト利用促進検討委員会での意見等について

- ・フレコンバッグの小口が狭く、コンポストを出すときに詰まるので改善してほしい。  
→フレコンバッグの小口を大きくするよう改良している。
- ・大規模面積で栽培する農作物に使うことが、使用量を増やす方法として現実的。
- ・新コンポストセンターの生産量が増加しても全員が使える量ではない。最初は多く使ってくれる生産者にある程度目安をつけて販売することも必要。
- ・若い農家の方は重金属の事を意識せずに汚泥肥料を使っている。他の肥料と比較しても重金属リスクの差はほとんどない。
- ・他の自治体などの事例では肥料成分や重金属の測定結果をホームページ等に掲載し、各種イベントや市民農園への無償提供を行っている。
- ・月山畜産振興公社が牧場の草地改良にコンポストを使いたいという意見があった。  
→製造量が増えてから検討する。散布する機械が目詰まりしやすいのでサラサラしたコンポストでないと使いにくい。